

強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)指導者研修カリキュラム

日にち:平成27年8月20日(木)～21日(金)

場 所:情報オアシス神田セミナールーム オアシス4

8月20日(木)	講義名	内 容	講 師
9:30～	受付		
10:00～10:30	インフォメーション	本指導者研修の目的	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
		カリキュラム・4日間のスケジュールの確認	
		運営マニュアルの説明、注意事項等	
10:30～11:30 講義1. 0H	プロローグ ～強度行動障害のある人についての基本的な理解～	研修の目的	肥後祥治 (鹿児島大学)
		行動障害のある人への対応の変遷	
		強度行動障害とはどういう状態像なのか	
		行動障害のある人の豊かな世界	
11:30～12:20	昼休み		
12:20～14:20 演習2. 0H	私たちが困っていること。 ～感覚の違いを体験しよう～	演習①「作業(指示手順書あり・なし)」	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
		演習②「作業(軍手をはめて)」	
		演習③「意味の分からない言葉での指示」	
		演習④「騒がしい環境での聞き取り」	
		演習⑤「狭い視野での活動」	
		演習⑥「視覚と聴覚で違う情報」	
		演習⑦「分かりにくい提示」	
		言葉でのコミュニケーションの難しさ	
14:20～14:30	休憩		
14:30～15:30 講義1. 0H	私たちのこと知ってほしい。 ～自閉症について～	自閉症の基礎知識	園山繁樹 (筑波大学)
		知的障害・精神障害の基礎知識	
15:30～16:30 講義1. 0H	ボクらの世界とのつながり方。 ～環境を整えることの大切さ～	支援に必要な環境整備・環境調整	坂井 聡 (香川大学)
		構造化の基本と手法	
16:30～17:30 講義1. 0H	ひとりで悩まないで。 ～支援者ケアの大切さ～	家族や支援者の現状	末安民生 (日本精神看護協会)
		ストレスや疲労が虐待に繋がりがりやすいことを知る。	
		強度行動障害のある人の周りにいる人のケアの重要性	
		ストレスケアの理解	
17:30～18:00 講義0. 5H	支援の現場から ～事例紹介～	行動障害の支援の現場を伝える。	未定

※内容や講師や変更になる場合もあります。

8月21日(金)	講義名	内容	講師
8:30~	受付		
9:00~10:00 特別講義	アセスメントと行動の理解	知ることから始めよう~アセスメントについて~ 行動の生じる理由と対応を知る	井上雅彦 (鳥取大学)
10:00~10:30 演習0.5H	知ることから始めよう。 ~根拠を持って支援する~	演習⑥「アセスメント」 支援の根拠・プロセスとしてのアセスメントの大切さ	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
10:30~12:00 演習1.5H	本当の理由を考えよう。 ~氷山モデルで考える~	演習⑤「氷山モデル」 事例をもとに氷山モデルを使って行動の理由を考える。	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
12:00~13:00	昼休み		
13:00~13:30 講義0.5H	みんなでやろうよ。 ~チームプレイの大切さ~	サービス等利用計画について知る。 個別支援計画について知る。 支援手順書・記録の意義や活用方法を知る。 危機管理や緊急時の対応について	加藤 恵 (半田市障がい者相談支援センター)
13:30~14:00 演習0.5H	お互いに共有しよう。 ~記録と情報共有~	演習⑩「記録と情報共有」 工夫していることの情報交換	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)
14:00~15:00 講義1.0H	医療と一緒に。 ~医療と福祉の連携~	医療と連携して支援することの必要性	會田千重 (肥前精神医療センター)
15:00~15:30 講義0.5H	その時あなたは どうしますか。 ~虐待・身体拘束・行動制限の 予防は支援の質の向上から~	強度行動障害が虐待と結びつきやすいことを知る。 虐待防止法の理解	曾根直樹 (厚生労働省)
15:30~15:40	休憩		
15:40~16:10 講義0.5H	支える仕組み。 ~制度理解のヒント~	強度行動障害のある人を支える制度への理解を促す。	田中正博 (全国手をつなぐ育成会連合会)
16:10~17:40 演習1.5H	やりやすくする。 ~整えられた環境での活動~	演習④「本人のやりやすい環境と活動」 本人の理解しやすい環境や方法	福島龍三郎 (全国地域生活支援ネットワーク)

※内容や講師や変更になる場合もあります。